

計画案の主な変更箇所

【平成31年 1 月29 日版】

整理 番号	変更箇所			変更前	変更後
	章	項	頁		
1	第 1 章	—	5, 6	刑事司法定続きの流れ図	「平成30年版再犯防止推進白書」より抜粋した「成人による刑事事件の流れ」及び「非行少年に関する手続きの流れ」に変更
2	第 2 章	4	15	—	一時的に居場所を確保した者の状況について、注として、川崎自立会の建替による影響を追記
3	第 3 章	1	19	—	【具体的施策】に県営住宅の取組を追記
4	第 3 章	1	20	—	民間の取組として、更生保護施設の取組を追記。
5	第 3 章	2	21	—	【現状と課題】に刑務所内の認知症の状況について追記
6	第 3 章	2	26	—	民間の取組として、神奈川県弁護士会と神奈川県社会福祉士会の連携について記載
7	第 3 章	2	27	—	【現状と課題】について、現状（国）→現状（本県）→依存者への認識→必要な施策の順で記載、家族への支援について一部追記
8	第 3 章	3	29	公認心理士	公認心理師
9	第 3 章	5	38	—	薬物乱用防止指導員等の講師派遣の取組を薬物乱用防止教育の取組の中に移動し、合わせて記載
10	第 3 章	5	39	—	国の取組として、矯正展について追記
11	第 4 章	1	41	—	神奈川県再犯防止推進会議の名簿を追記
12	第 5 章	—	47	—	用語の説明に「公認心理師」を追記